

**足立史談会だより**

足立区立郷土博物館  
足立史談会事務局  
TEL 03-3620-9393  
FAX 03-5697-6562  
金曜日 10:00-12:00

【第424号】  
令和7年7月15日

# 再開史談大学講座に32名参加

## ～リニューアルオープンの足立区立郷土博物館見学～



足立史談会、今年度初めてのイベント史談大学講座が6月13日(金)(13:00-15:30)、開催されました。学芸員の荻原ちとせ氏の「郷土資料館から美術博物館へ」と題しての講演、館内展示見学、参加の皆さんとの懇談、希望者のみの参加でしたが博物館に隣接する東淵江庭園、小形研三氏(昭和の造園家)が設計した回遊式庭園の見どころと学童集団疎開の平和祈念碑、石田波郷(昭和の俳人)旧足立二中の直筆、校歌碑等の案内をさせて頂きました。32名の皆さんの参加でした。

荻原学芸員の解説内容は

足立区立郷土博物館は1986(昭和61)年開館。39年目です。設備の老朽化が目立ち、令和5年1月から7年4月25日まで休館し建物設備と空調の改修と併せて平成21年の改修以来、16年振りに常設展示の改修を行いました。

新しい展示コンセプトは「郷土資料館」から「美術博物館へ」です。

当館は2011年以来、10年以上にわたり、足立区の美術資料を主軸とした文化遺産調査を行ってきました。その過程で、足立には数多くの価値ある美術作品(約2650点収集)が遺されていることが明らかになりました。

美術史学会、研究者等からも高く評価され、足

立の美術文化に注目が集まりました。これを受け今回の改修では、新たに美術分野の常設展示スペースを設けることになり、これまでの常設展示では歴史・民俗という二つの視点から足立を紹介してきましたがここに美術という視点を加えることにより、豊かな足立の文化をより広く、多角的に紹介する新しい足立スタイルの郷土博物館として

### ①歴史・民俗・美術の融合

既存の常設展示に地域美術資料を融合させ、新たな歴史感を構築。

背景に総合的な展示ストーリーを構築

### ②「会話の弾む博物館」を踏襲

美術展示の垣根を下げる。(高尚なものではなく、身近なもの)

会話を通して、足立の歴史、民俗、美術を楽しみ、理解を深める。

### ③新しい地域美術資料の循環とは

展示を見た資料所蔵者から連絡  
新たな調査による情報の増加、さらには寄贈・寄託にも。

資料の保存や継承に結びつく。

「展示」によって所蔵者と区民の満足が高まることでの展示を意図しました。

というお話でした。



講座に32名が参加



講師の荻原ちとせ氏



熱心に聞き入る受講者



回遊式庭園の見どころ